

大学におけるリカレント教育に関する 調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目次

調査概要	P.3
-------------	------------

サマリ




1. 大学におけるリカレント教育の実施概況	P.4
2. リカレント教育とオンライン活用	P.5
3. リカレント教育の成果と普及に向けた課題	P.6

調査結果

1. 大学におけるリカレント教育の実施詳細	P.7
2. リカレント教育のオンライン配信状況	P.17
3. リカレント教育の成果と課題	P.22

調査目的	大学におけるリカレント教育の実施状況や成果を調査すると共に、今後の課題とニーズを探る
調査手法	アンケート専門サイトを用いたWebアンケート調査
調査期間	2023年9月26日～27日
調査対象者	全国の大学の教員・職員 ※大学の属性：国公立大学41%、私立大学59% ※通学制と通信制の比率：通学100%、通信0%
有効回答数	100名
実施主体	eラーニング戦略研究所

- ✓ リカレント教育を実施している大学は全体の**26%**に留まる。
- ✓ 主な受講者は「**企業で働く社会人**」「定年退職者」「求職者」など。
- ✓ 受講目的は「**スキルアップ**」から「学問的探求」「学位取得」「社会とのつながり」「転職・再就職・キャリアチェンジ」まで**多様化している**。
- ✓ 「データサイエンス・統計・情報・数理」「経営マネジメント」「教育・人材開発」「一般教養」「地域創生」「AI・IoT」ほか、提供プログラムは多岐にわたる。
- ✓ 「**社会的ニーズ**」「**実践的**」「**学ぶ楽しさ**」を重視してプログラムが開発されている。

-  **リカレント教育をオンライン配信しているのは、**
リカレント教育を提供している大学のうち**53.8%と半数程度**。
-  オンライン教育へのニーズが社会全体で高まる中、リカレント教育に関しては
まだまだ対面型も多く、働く人、遠方の人、育児や介護で時間的制約がある人など
誰もが学びやすい環境が整っているとは言い難い状況である。
-  一方、オンライン配信を行っている大学では「教職員や学生が使いこなせない」
「接続の安定性・音声品質」「セキュリティやプライバシー」などの課題を抱えて
いる。

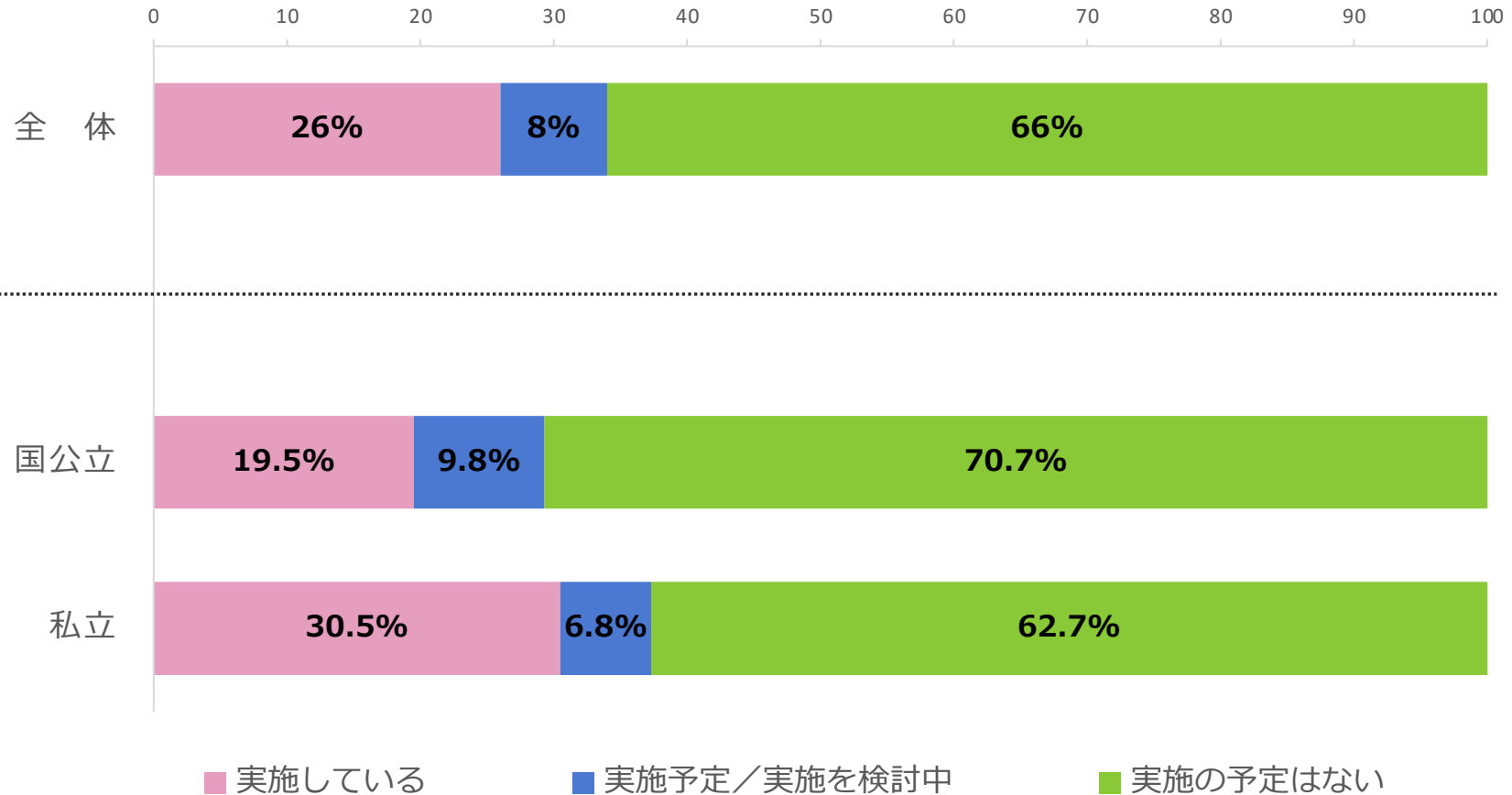
- ✓ リカレント教育が大学にもたらした成果は「**大学の知を幅広い人に提供可能**」「**社会で求められる人材・技術に貢献できた**」など。学術機関として広い意味での社会貢献が、リカレント教育を提供する意義と認識されている。
- ✓ 課題は「**教職員のリソース不足**」「カリキュラム開発」「受講生募集」。
- ✓ 他の大学・組織と共同でリカレント教育を推進している大学はわずか3.8%。ほとんどが各大学単体での取り組みとなっており、その負担は大きい。
- ✓ より多くの大学が円滑にリカレント教育を実施するためには**国による財政支援、広報支援**も求められている。

アンケート調査結果

1. 大学におけるリカレント教育の 実施詳細

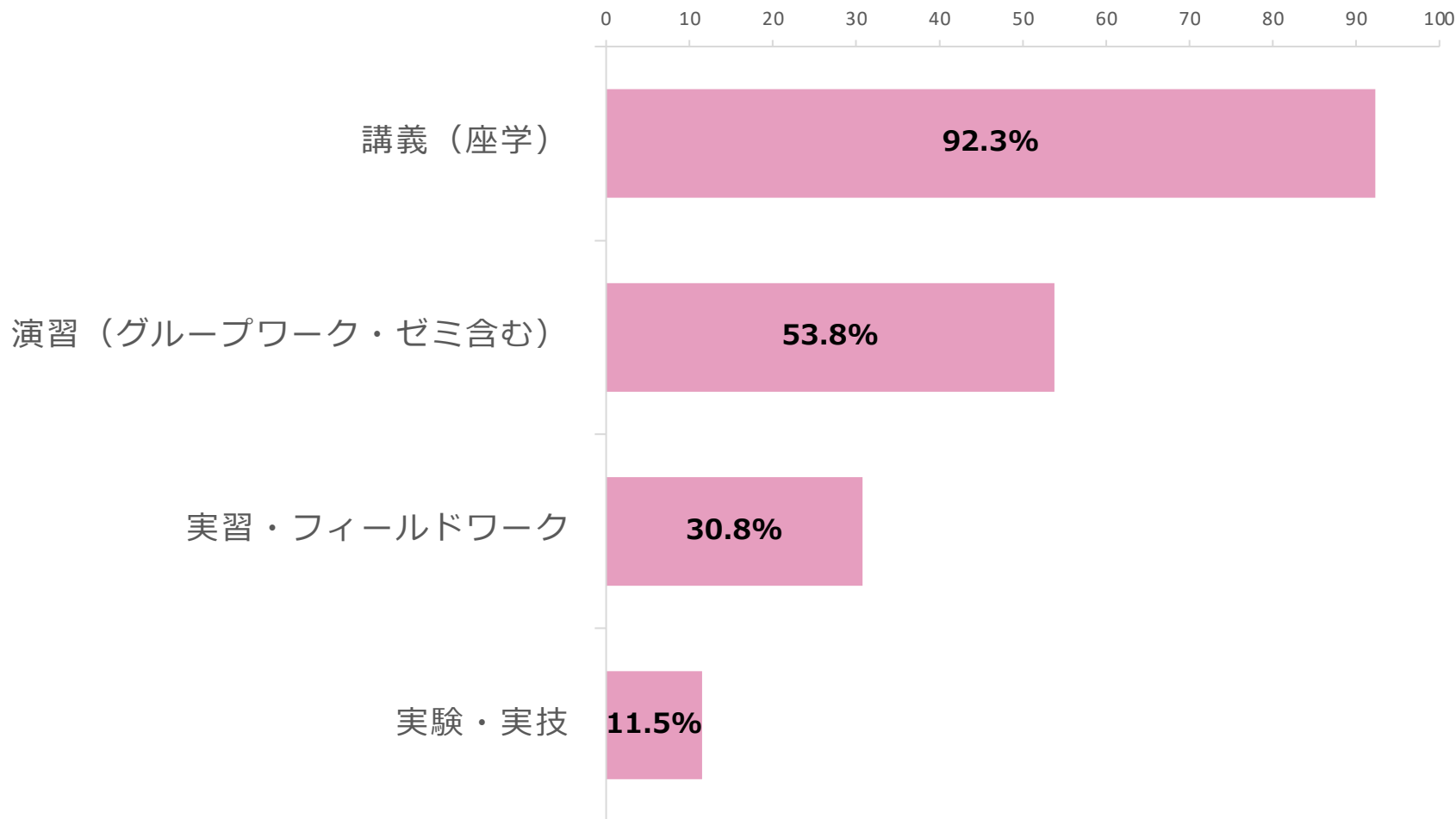
リカレント教育の実施有無

リカレント教育を実施している大学は全体の26%。私立大学の方がやや実施率が高い。
一方、「実施予定はない」は66%を占めている。



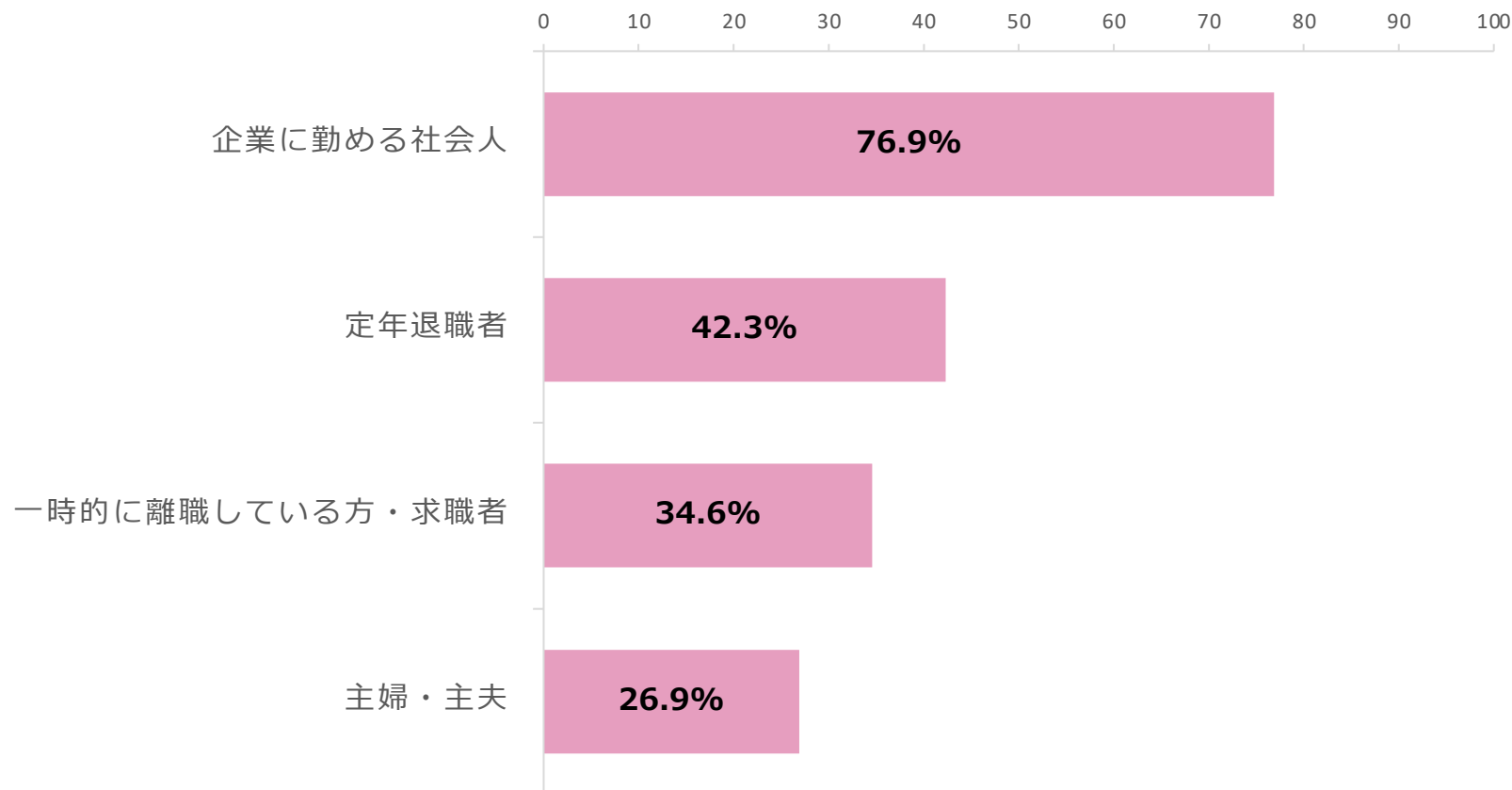
Q：あなたの大学では現在リカレント教育を実施していますか？ (n=100)

リカレント教育でもっとも多い形式は「講義」。グループワークやゼミなどの「演習」も半数を超える。



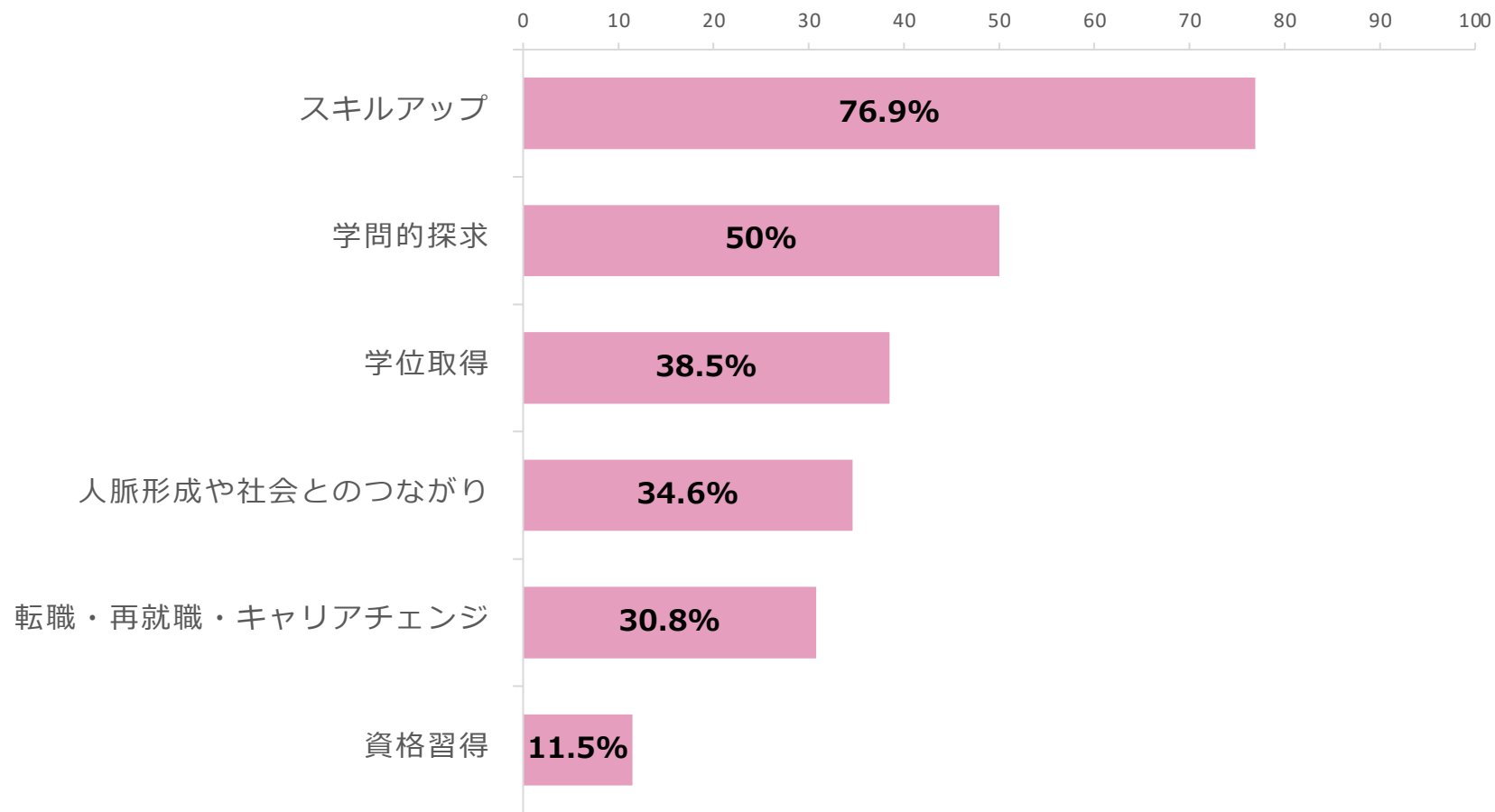
Q: リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。提供しているリカレント教育の形式で当てはまるものを全てお答えください。(n=26)

主な受講者は「企業で働く社会人」。定年退職者や求職者の受講も多い。



Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。どのような方がリカレント教育プログラムを受講されていますか？(n=26)

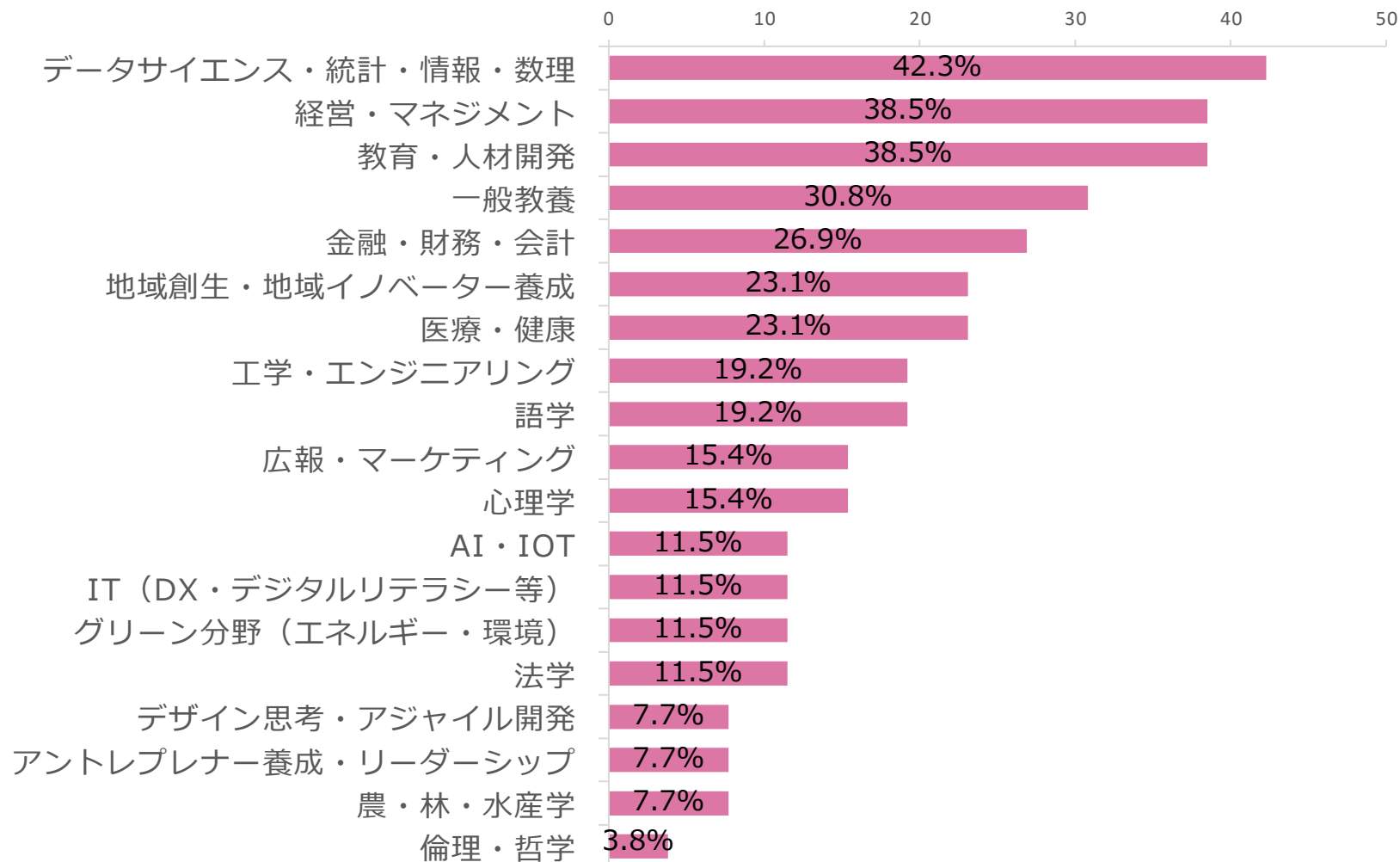
受講目的は「スキルアップ」が最多で76.9%。
そのほか「学問的探求」「学位取得」「社会とのつながり」など、その目的は多様化している。



Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。受講生の受講目的は何ですか？近いものをいくつでもお答えください。(n=26)

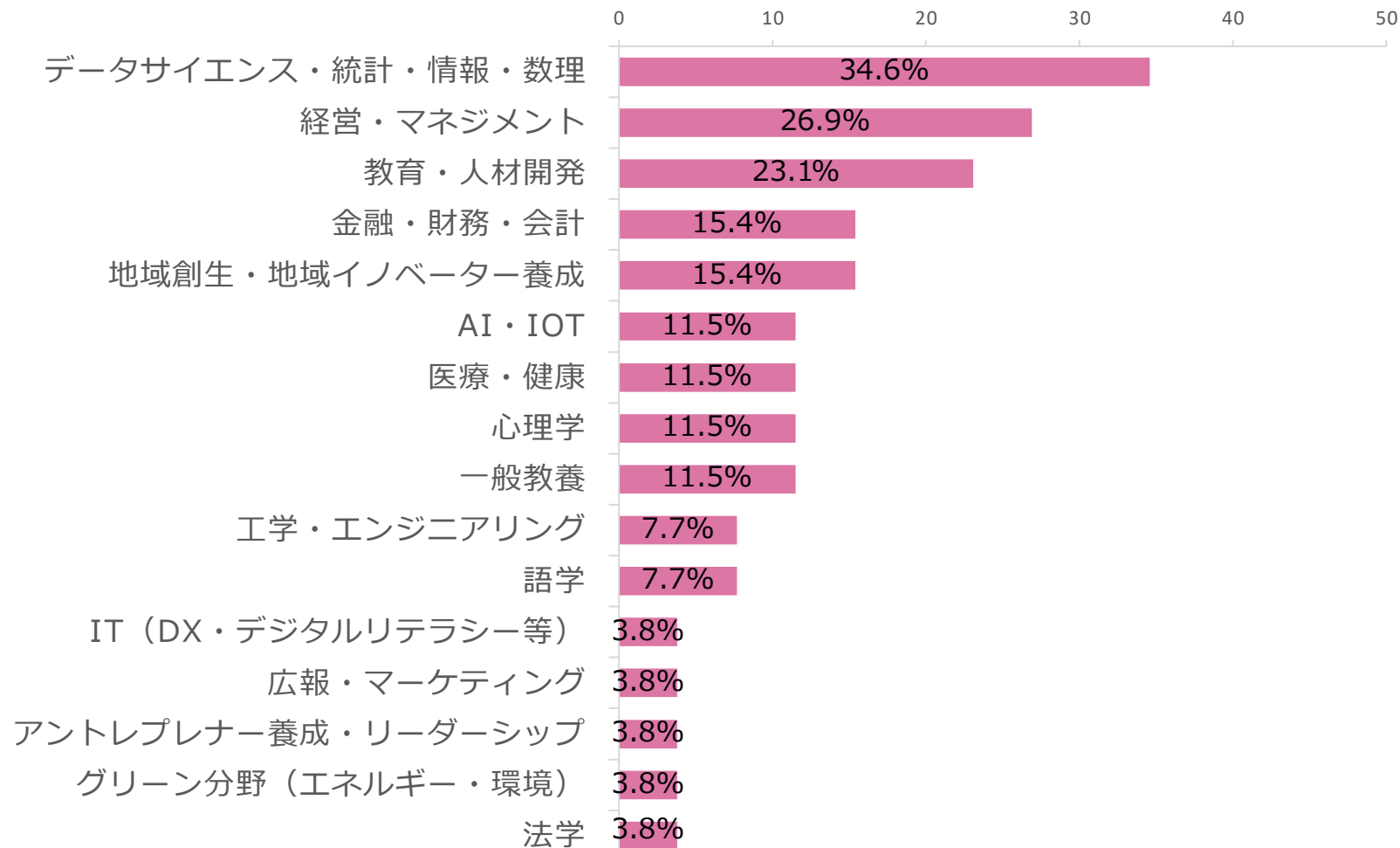
提供しているリカレント教育プログラムの分野

トップ3は「データサイエンス・統計・情報・数理」「経営マネジメント」「教育・人材開発」。
さらに「一般教養」から「地域創生」「AI・IoT」「倫理・哲学」まで多岐にわたる。



Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。提供するリカレント教育プログラムの分野に近いものを全てお答えください。(n=26)

受講生から人気のプログラム上位は前ページと全く同じ。
受講者ニーズに合った教育プログラムが提供されていることがうかがえる。



Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育プログラムで受講者の需要の高い分野を全てお答えください。(n=26)

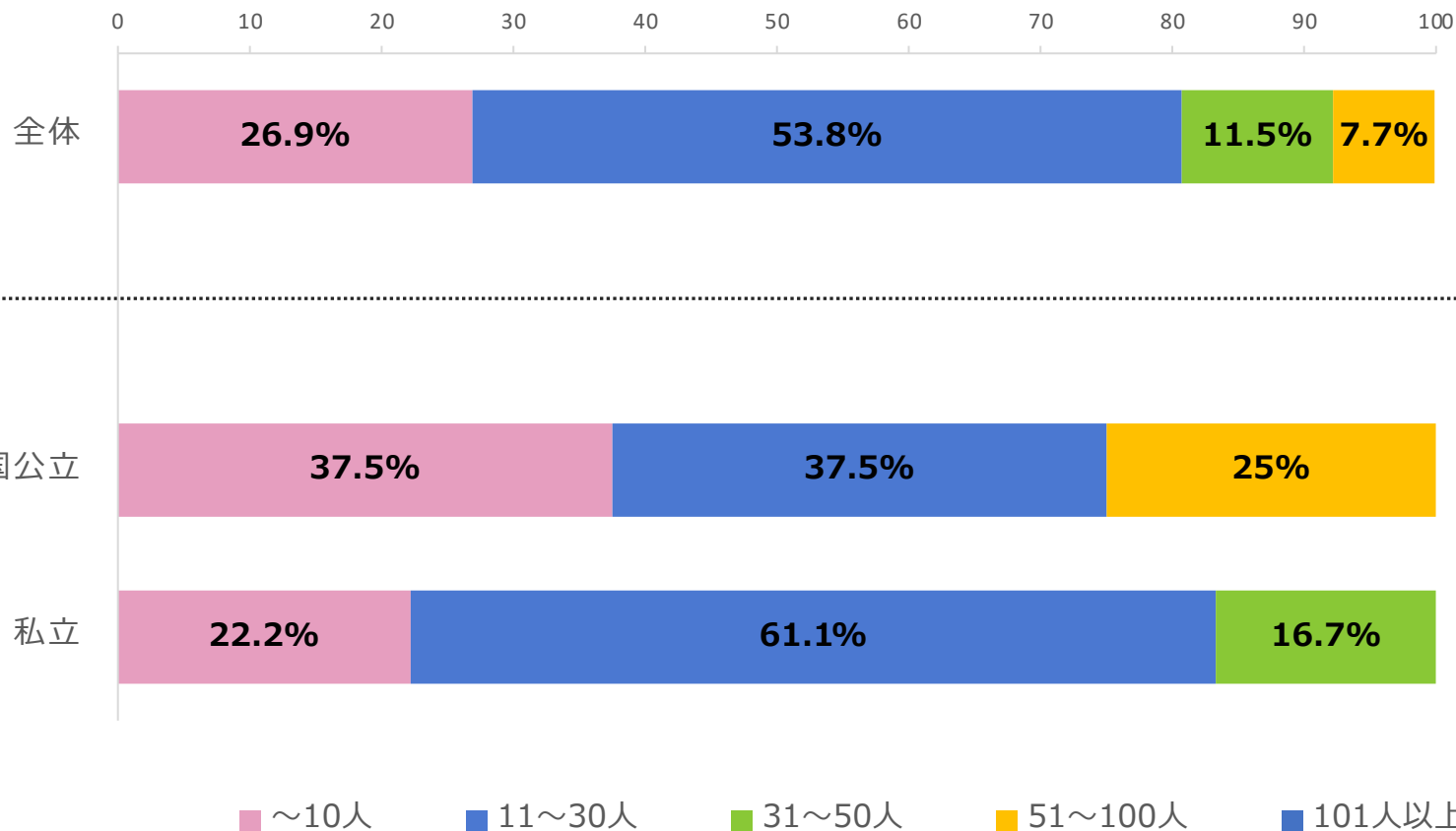
リカレント教育のプログラム開発で重視していること

「社会的ニーズ」「実践的内容」「学ぶ楽しさ」がキーワードとなっている。

- ・受講者のニーズ（国公立）
- ・受講者のニーズをつかむ（私立）
- ・社会的ニーズに答えること（国公立）
- ・トレンドに合うようにする（私立）
- ・実務（私立）
- ・役に立つこと（私立）
- ・実践的内容（私立）
- ・実践的示唆（私立）
- ・受講生の情報を一人一人把握したうえでプログラム設計につながっている（私立）
- ・自学自習がしやすいもの（国公立）
- ・満足度（国公立）
- ・学位取得（私立）
- ・交流（国公立）
- ・受講者同士のネットワーク形成（国公立）
- ・学ぶことを楽しんでもらえるよう重視している（私立）
- ・わかりやすさ（私立）
- ・受講生の理解度（私立）
- ・難し過ぎず、簡単過ぎない（私立）
- ・多様性（国公立）
- ・分野により異なる（私立）

Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育プログラム開発で重視していることは何ですか？（有効回答数20）

1プログラムあたりの平均受講者は「11～30名」がボリュームゾーン。



国
公
立
or
私
立

Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。1プログラム当たりの平均受講生数を教えてください。(n=26)

受講生からのフィードバック・評価方法

ほとんどの大学で受講生から何らかのフィードバックを受けている。
方法はアンケートが多いが、その結果をどのように利活用しているかまでは不明。

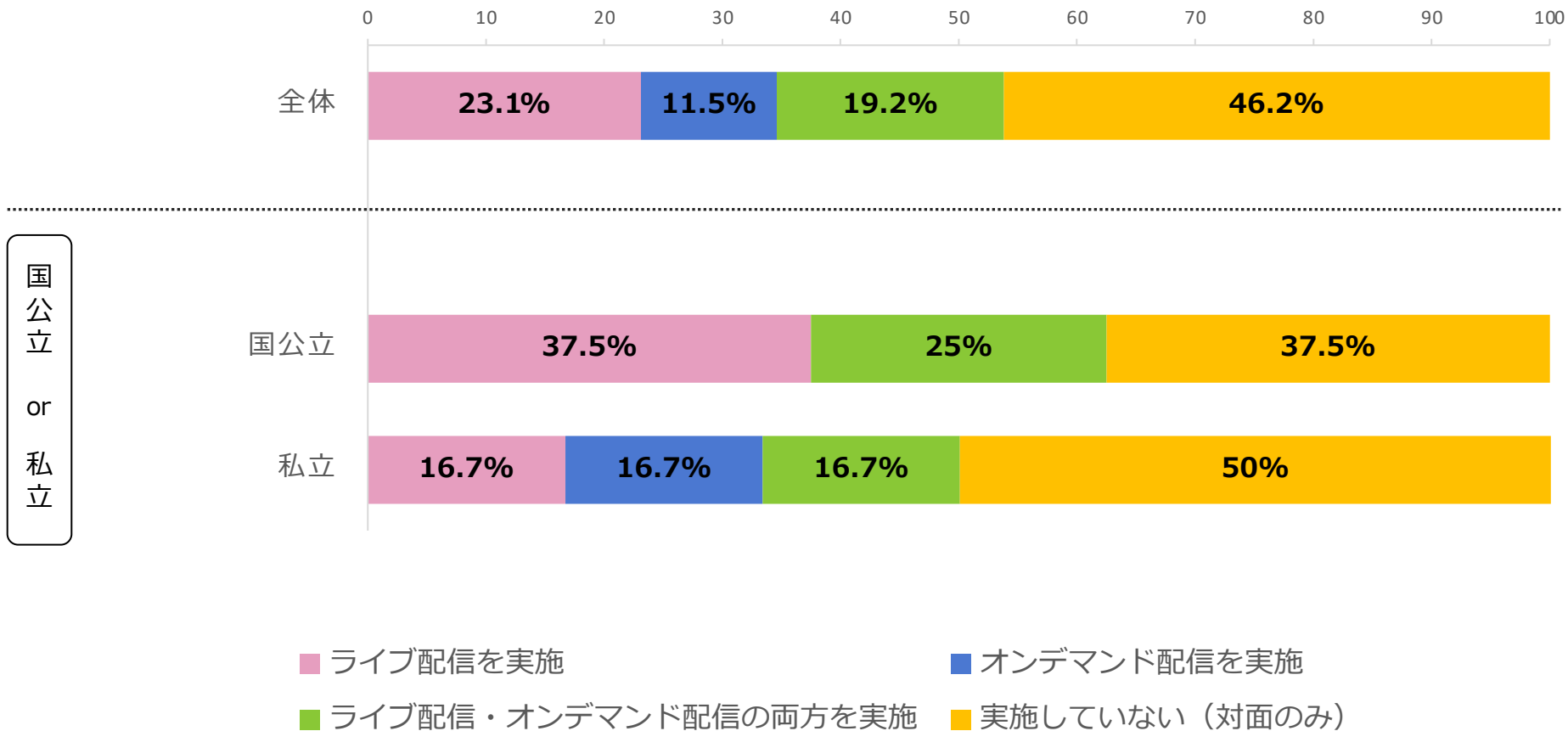
- ・アンケート（国公立）
- ・アンケート（国公立）
- ・アンケート（国公立）
- ・受講後のアンケート調査（国公立）
- ・毎回の授業後にアンケートを実施しています（国公立）
- ・ヒヤリング（国公立）
- ・レポート評価（国公立）
- ・アンケート（私立）
- ・アンケート（私立）
- ・授業アンケート（私立）
- ・授業アンケート（私立）
- ・授業アンケート（私立）
- ・授業評価アンケート（私立）
- ・オンラインのアンケート（私立）
- ・アンケートで実施している（私立）
- ・受講者アンケート、レポート（私立）
- ・課題提出やアンケートに対する回答（私立）
- ・直接（私立）
- ・毎回コメントでフィードバック（私立）
- ・リアクションペーパーなどを用いる（私立）
- ・フィードバックは上手く進んでいないので、課題である（私立）
- ・フィードバックは実施しているものの適切に利用できているかは不明瞭（私立）

Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育プログラムに対する受講生からのフィードバックや評価はどのように実施していますか？（有効回答数22）

アンケート調査結果

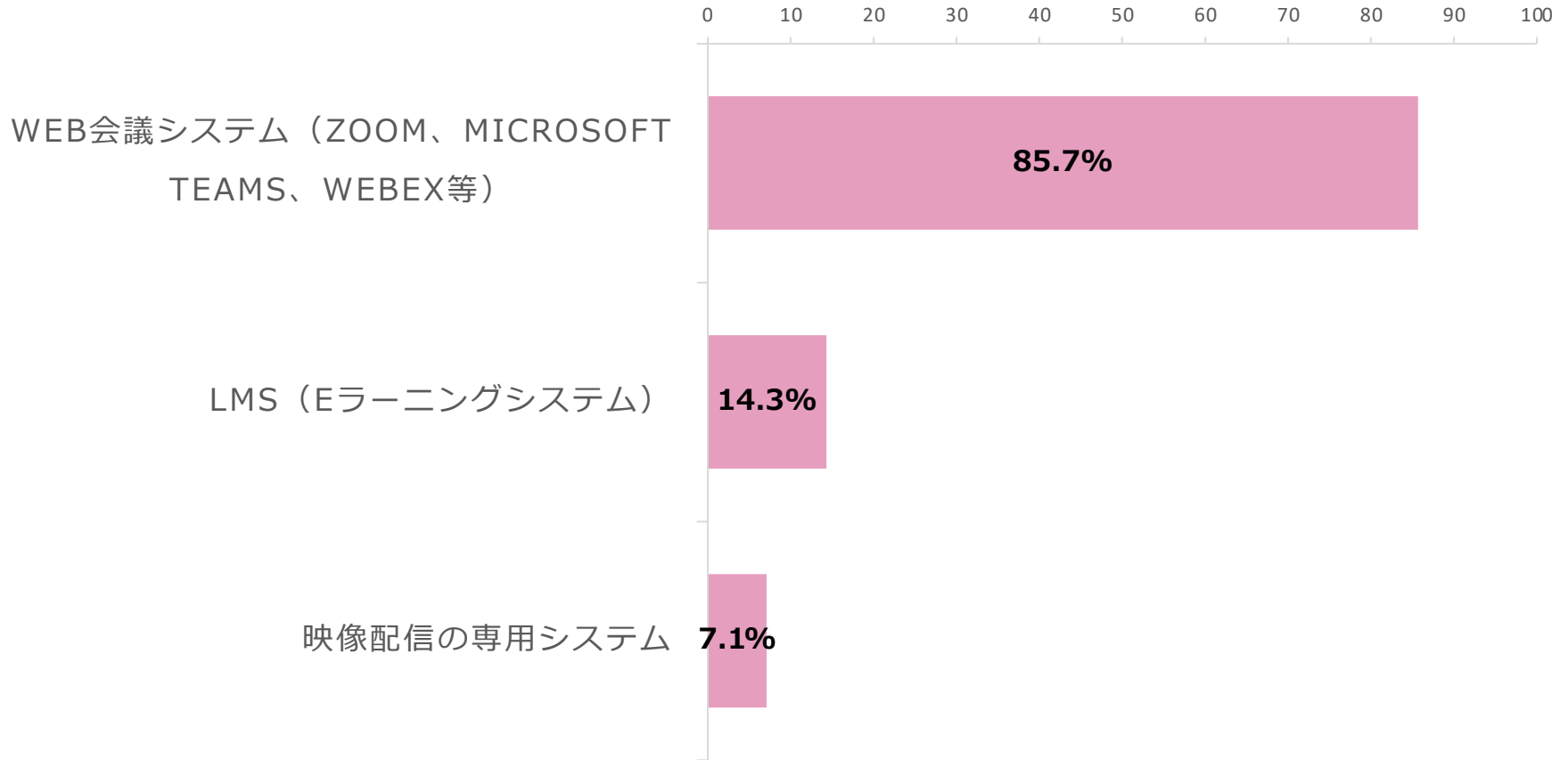
2. リカレント教育のオンライン配信状況

リカレント教育プログラムをオンライン配信している大学は、
リカレント教育を提供している大学のうち53.8%。



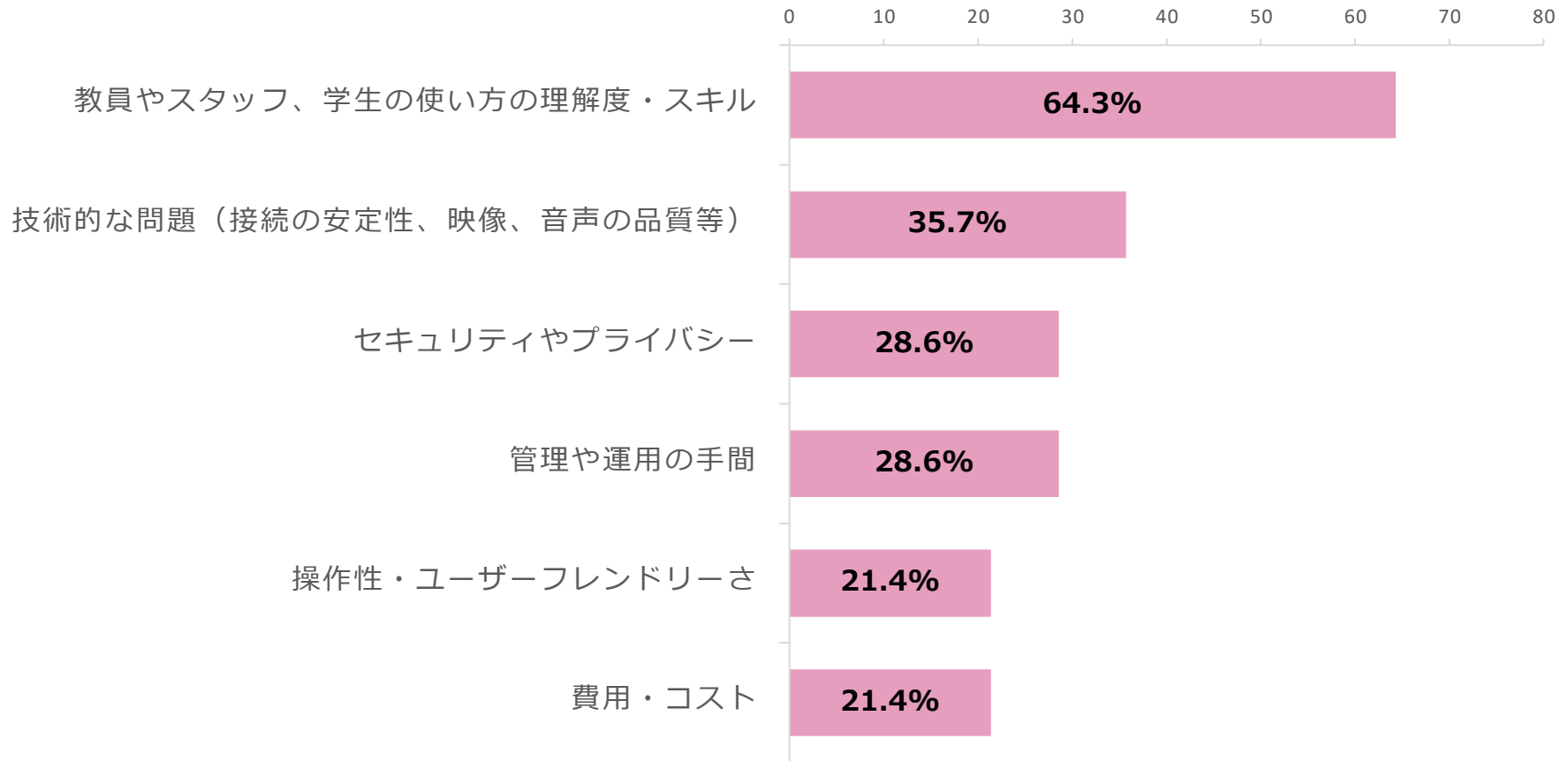
Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育のオンライン配信を実施していますか？(n=26)

ほとんどの大学がWeb会議システムを利用している。



Q：オンライン配信を実施している人にお聞きします。どのようなオンライン配信システムを利用されていますか？(n=14)

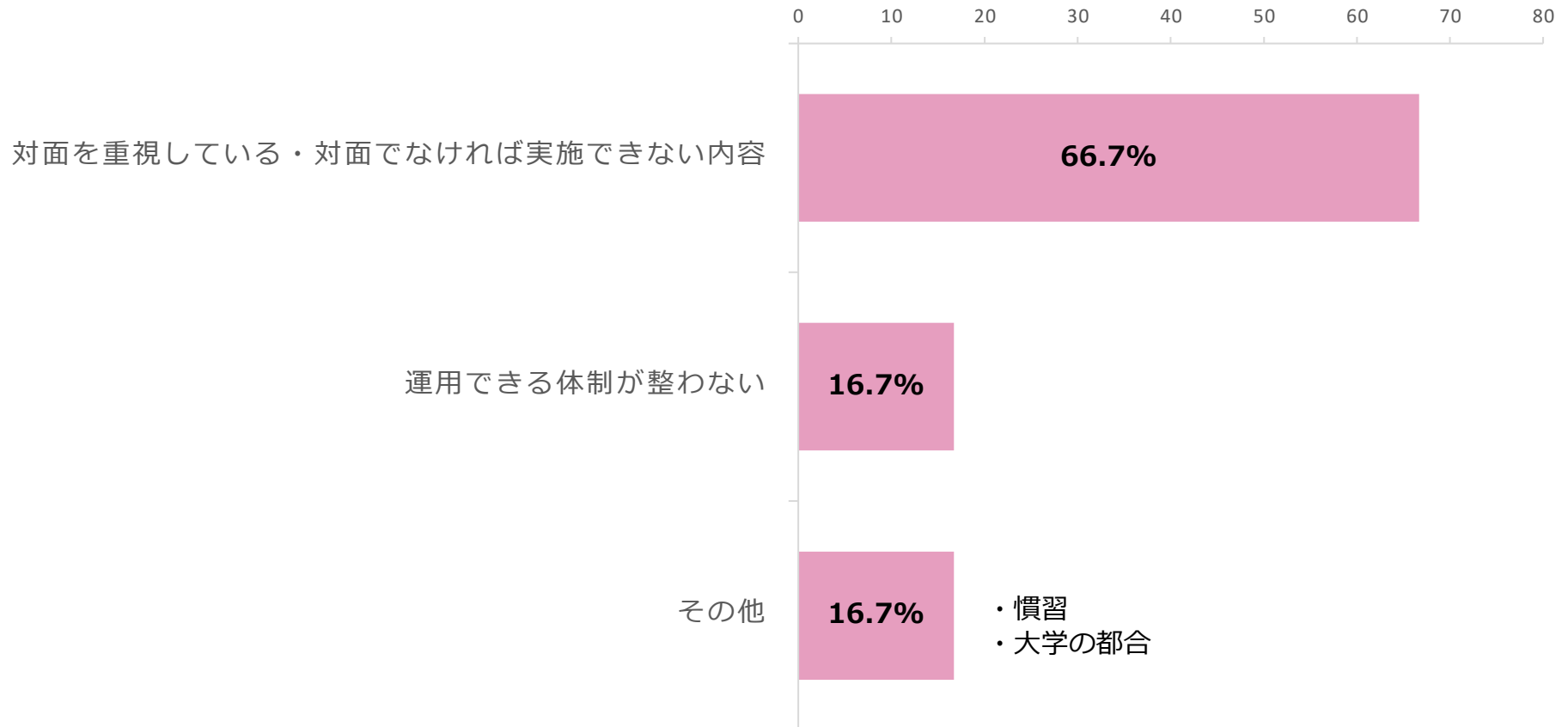
大学はオンライン配信に関して複数の課題を抱えていることがわかる。



Q：オンライン配信を実施している人にお聞きします。使用している各システムで直面している主な課題は何ですか？全てお答えください。(n=14)

オンライン配信を実施していない理由

一方、オンライン配信をしていない大学では対面授業が重視されている。



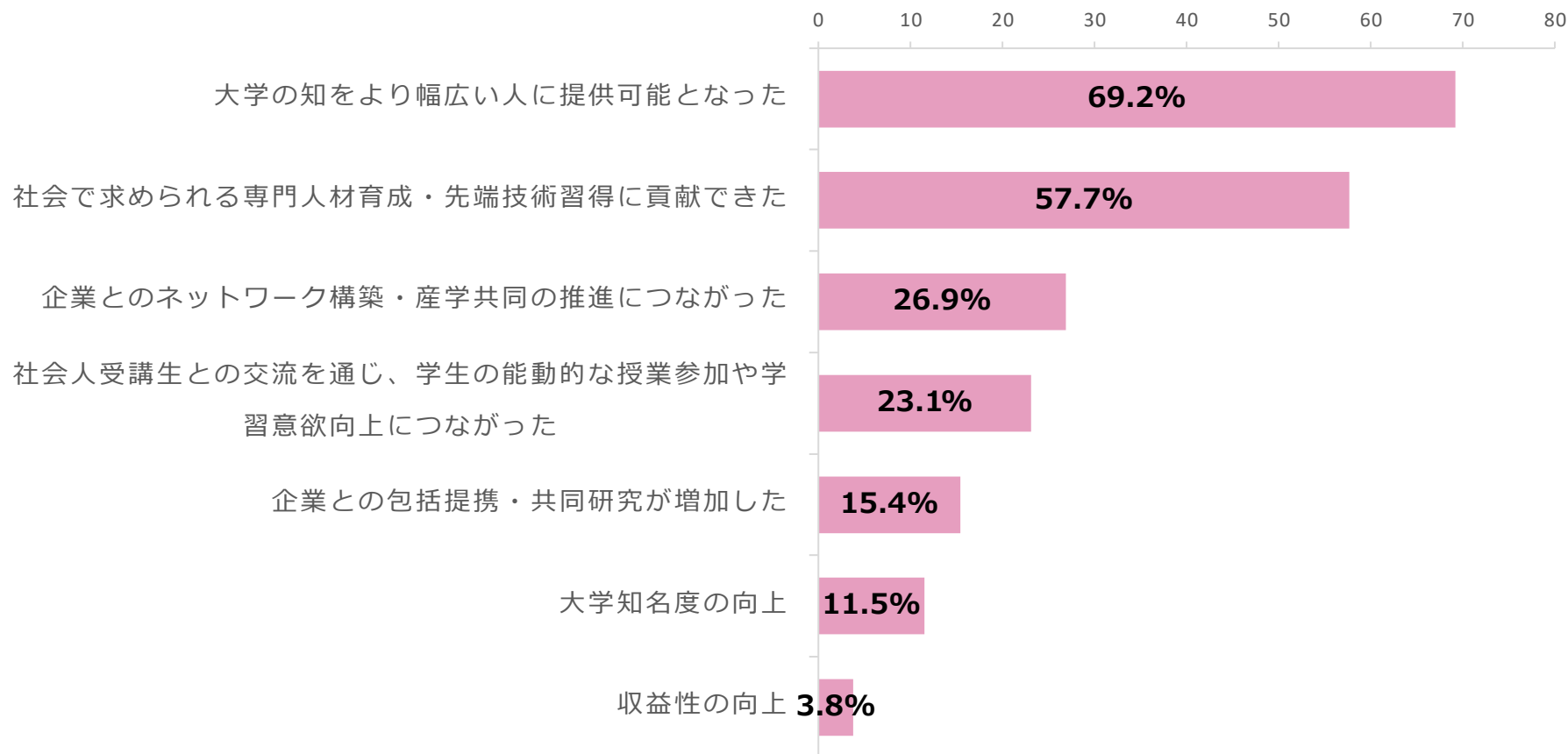
Q：オンライン配信を実施していない人にお聞きします。オンライン配信を実施していない理由は何ですか？全てお答えください。(n=12)

アンケート調査結果

3. リカレント教育の成果と課題、 今後の展望

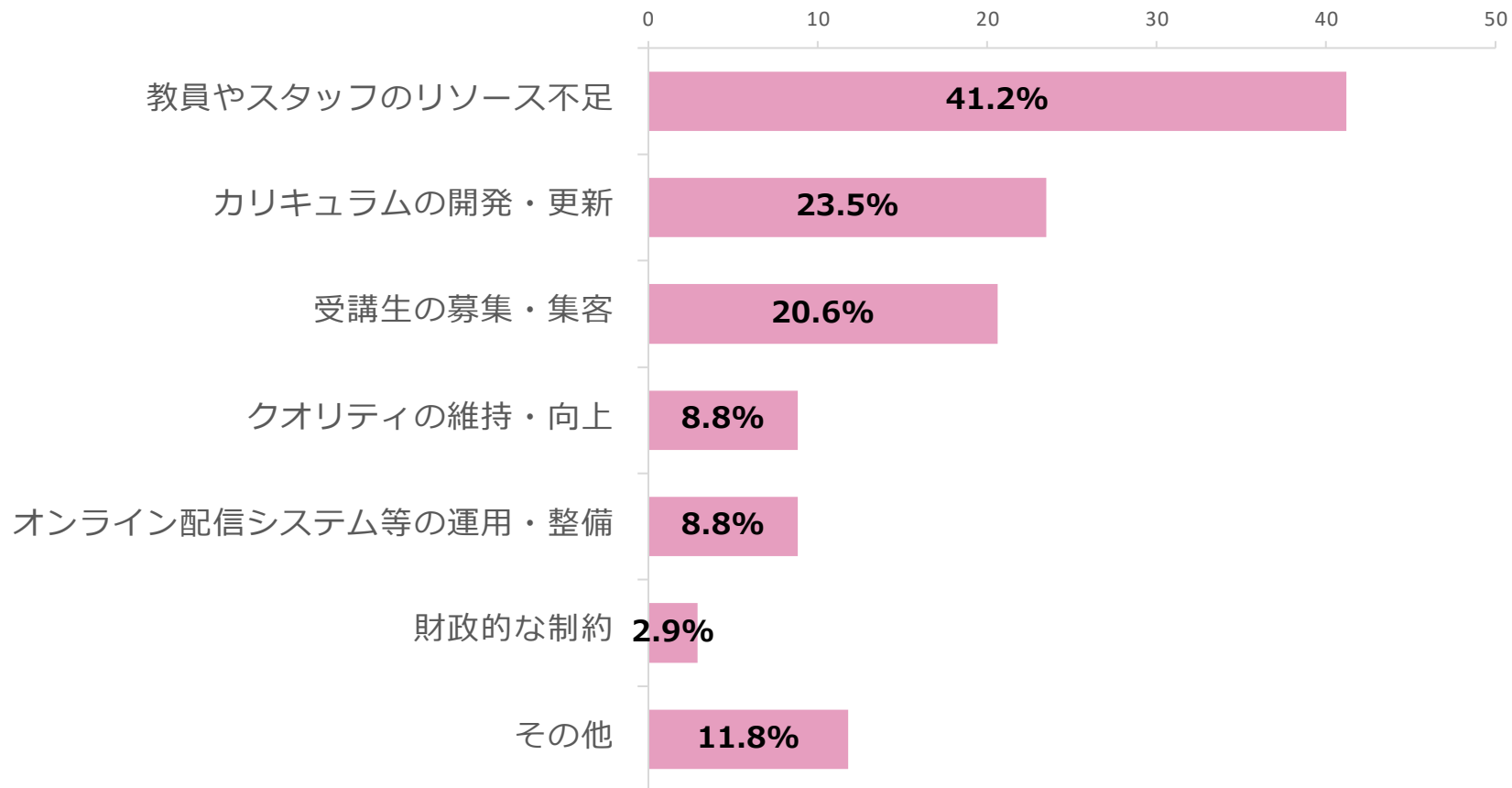
リカレント教育の成果

大学の利益よりも「大学の有する知の有効活用」「社会で求められる人材・技術に貢献」といった部分にリカレント教育の意義を感じている大学が多い。



Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育はどんな成果を生み出していますか？全てお答えください。(n=26)

最大の課題は「教職員のリソース不足」。
ニーズに沿った「カリキュラム開発」や「受講生募集」が大変という声も聞かれた（詳細次頁）。



Q：リカレント教育を「実施している」「実施予定/実施を検討中」と答えた方にお聞きします。リカレント教育を提供・実施検討する上で直面している主な課題は何ですか？(n=34)

リカレント教育の課題（詳細-1）

教員やスタッフのリソース不足

- ・負担が大きい（国公立）
- ・教員の仕事が多い（国公立）
- ・教員の負担が増える（国公立）
- ・やりたい教員がいない（国公立）
- ・上に同じく財源に問題があることが主（国公立）
- ・学部生や大学院生の授業準備等でなかなか時間的余裕がない（国公立）
- ・負担増になる（私立）
- ・やる気のなさ（私立）
- ・職員の過重労働（私立）
- ・小規模大学ゆえ（私立）
- ・時間的に厳しい（私立）
- ・教員が足りてない（私立）
- ・開講希望教員の不足（私立）
- ・基礎的事項を教えるスキルと人員が足りない（私立）

カリキュラムの開発・更新

- ・マンネリにならないのが難しい（国公立）
- ・最新の情報を入手・提供すること（国公立）
- ・未着手（私立）
- ・担当者（私立）
- ・臨床教育（私立）
- ・時間がない（私立）
- ・カリキュラム策定（私立）
- ・時世にマッチしたカリキュラムを開発することを目指している（私立）

Q：リカレント教育を「実施している」「実施予定/実施を検討中」と答えた方にお聞きします。リカレント教育を提供・実施検討する上で直面している主な課題は何ですか？(n=34)

リカレント教育の課題（詳細-2）

受講生の募集・集客

- ・交通の便が悪い（国公立）
- ・認知、必要性（私立）
- ・大学が遠い（私立）
- ・もっと必要（私立）
- ・数が少ない（私立）
- ・募集人数に足りてない（私立）
- ・時間帯の設定が難しい（私立）

クオリティの維持・向上

- ・満足度（国公立）
- ・最新の知識を盛り込む（国公立）
- ・適切なレベルの設定が難しい（国公立）

オンライン配信システム等の運用・整備

- ・未導入（私立）
- ・併用は手間になる（私立）
- ・受講生の中、専業主婦が多いので、場所と時間の制限を克服するためにオンライン配信が不可欠と感じている（私立）

財政上の制約

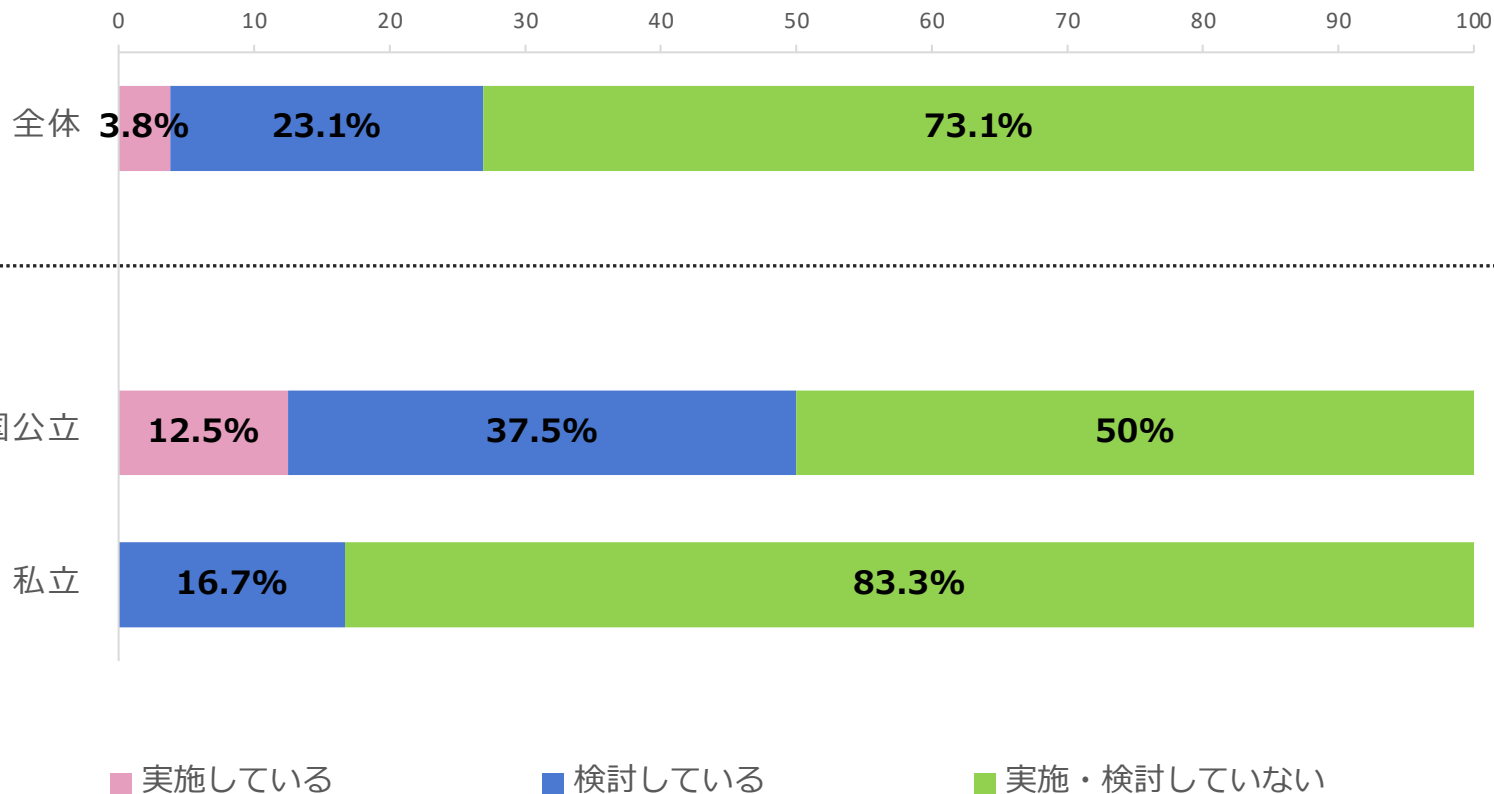
- ・大学の財政に余裕がなく継続的な実施に不安がある（国公立）

その他

- ・受講生の募集（私立）
- ・特にない（私立）
- ・特になし（私立）
- ・なし（私立）

Q：リカレント教育を「実施している」「実施予定/実施を検討中」と答えた方にお聞きします。リカレント教育を提供・実施検討する上で直面している主な課題は何ですか？(n=34)

現状では他の大学や組織との共同はわずか3.8%。ほとんどが各大学単体での取り組みとなっている。



国
公
立
or
私
立

Q: リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。他の大学や組織との協力を通じて、リカレント教育を強化するための取り組みを実施していますか? (n=26)

様々な課題はあるものの、今後もリカレント教育を発展させていきたいと考える大学が多い。

- ・継続（国公立）
- ・あまり期待できない（国公立）
- ・より広く周知する（国公立）
- ・リソースの範囲内で拡張していきたい（国公立）
- ・普段の業務や研究に支障をきたさないようバランスを取りながら継続できたらと思います（国公立）
- ・発展（私立）
- ・継続、拡大（私立）
- ・需要はありそう（私立）
- ・知名度を上げたい（私立）
- ・需要を調査しながら考える（私立）
- ・本学で取り組み、知名度を上げるためにもますます発展させたい（私立）
- ・より多くの女性が受けるようにする。女性の社会進出と活躍にリカレント教育が欠かせない（私立）

Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育の今後の運営計画や展望についてお聞かせください。（有効回答数12）

必要としている国・関連団体からの支援

リカレント教育の普及・発展のための財政支援や広報支援が求められている。

- ・ 広報（国公立）
- ・ 広報（国公立）
- ・ 予算（国公立）
- ・ 予算措置（国公立）
- ・ お金かな（国公立）
- ・ 財政的支援（国公立）
- ・ 人件費があれば有り難いです（国公立）
- ・ 資金面（私立）
- ・ 補助金（私立）
- ・ 資金援助（私立）
- ・ 予算補助（私立）
- ・ 金銭的補助（私立）
- ・ 周知すること（私立）
- ・ 予算のサポートがほしい（私立）
- ・ 安定して進めるための資金的余裕（私立）
- ・ 補助金の交付などの公的支援が必要と思う（私立）
- ・ 政府がリカレント教育を推奨するような施策を推進してほしい（私立）
- ・ 他の機関と被らないために必要な内容を地域ごとにある程度周知かつ分散させること（私立）

Q：リカレント教育を「実施している」と答えた方にお聞きします。リカレント教育の普及・発展のために、国や関連団体からのサポートで必要とされるものはありますか？（有効回答数18）

大学におけるリカレント教育に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2023年12月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>